

33年に一度のご開帳
蓮蔵院『木造聖観世音菩薩立像』



ご開帳前に行われた法要の練り踊り



11世紀前半の造像とされる秘仏

11月24日、25日、引田の蓮蔵院で県指定有形文化財に登録されている『木造聖観世音菩薩立像』のご開帳が行われました。

同菩薩立像は、カヤ材の一本造で、像の表面に丸ノミの痕を刻む『鉦彫り』と呼ばれる作風が特徴です。この作風は県内で4例ありますが、その中でも同菩薩立像は最も美しく気品も備わっているといわれます。

当日は、33年に一度しかないご開帳とあって、一目見ようと多くの参拝客が集まりにぎわいました。

紅葉の名所、にぎわう
養老溪谷ファミリーハイキング



ハイキングコースに沿って流れる小川のせせらぎを聞きながら

11月25日に養老溪谷・梅ヶ瀬溪谷とその周辺で同イベントを開催し、子どもから大人まで総勢834人もの人々が参加しました。青空が広がる絶好のハイキング日和の中、参加者たちは養老溪谷駅から3つのコースに分かれて出発。赤や黄色に彩られた溪谷の美しい大自然に、「色が本当にきれい!」「空気が澄んでいておいしい!」などの感嘆の声が次々に上がりました。

**PHOTO
セレクション**

五井駅西口で同時開催
五井大市・いちはら『食』のフェスティバル

12月1日と2日に、梨ノ木公園と周辺道路、旧イトーヨーカドー市原店跡地で両イベントが開催されました。

江戸時代から続く350年以上の歴史を持ち、本市の冬の風物詩となっている五井大市。毎年恒例の『全国お雑煮大会』では、福島や鳥取、青森など全国各地の郷土色豊かなお雑煮がずらり。また旧イトーヨーカドー市原店跡地の1階を会場としたいちはら『食』のフェスティバルでは、本市の特産品などが多数出品され、来場者が各店自慢の品に舌鼓を打ちました。その他、会場ではHIPHOPダンスやバンド演奏などが行われ、この両日、師走の五井のまちは活気とにぎわいであふれました。



熱々のお雑煮を召し上げ



どれもおいしそうで目移り

みんなが笑顔で触れ合う
福祉まつり



市原市視覚障害者福祉会によるマッサージサービス



市原市ろうあ協会の手話教室では、参加者が輪になって手話で合唱

12月2日に you ホールで福祉まつりが開催されました。障がい者団体と施設、市による手づくりのイベントで、障がい者による作品の展示や販売などを実施。来場者に模擬店で試食を勧めていた三和福祉作業所の石倉勉さんは「みんなと会話ができて幸せでした。これからも声を掛けていきたい」、手話教室に参加した宮原さん親子(ちはら台東)は「手話ができて楽しかった。また教わりたい」と話してくれました。また障がい者の就労をテーマとしたパネルディスカッションでは、活発な意見交換が行われました。

小域福祉ネットワーク⑳

有秋西小学校区小域福祉ネットワーク

同ネットワークでは、地域ボランティア団体への協力や、有秋西小学校と連携した地域交流など、地域福祉活動に取り組んでいます。

11月には、同ネットワークのメンバーが、同校で児童や参加者にマジックショーを披露しました。また12月には、地域交流を進めるため、『歳末たすけあい募金』を活用した『いも煮会』を開催しました。同ネットワークの木原会長は「地域の交流を通じて、さらなる活動につなげていきたい」と話します。

子どもたちはマジックにくぎ付け

問合せ先 保健福祉課 ☎ 9768

Ichihara 国際通信 ~ Letter From Mobile ~ 146

アラバマ日米協会は、9月27日、28日にダウンタウンにある国際通商センターで、モバイル湾岸部の企業と在アラバマ日系企業のトップを集めてトレードサミットを開催しました。

モバイル港の発展について話し合う

このサミットでは、モバイル港の貿易発展について話し合うとともに、工場を訪問し、シリコン電子チップ製造工程の見学などをしました。また埠頭にある新しいコンテナターミナルとアラバマ州ドックを見学しました。モバイル港長によると、日本は、モバイル港からの貨物輸出货量で第4位とのこと。

その後、参加者の親睦を深めるためのディナーやゴルフ大会を行い、サミットは幕を閉じました。(今回の執筆者は、モバイル市原姉妹都市協会会員のマーク・エウォルドさんです。)

問合せ先 人権・国際課 ☎ 9826

サッカー市民球団 VONDS 市原 FC

関東リーグ(2部)に昇格!

市内から駆け付けた大勢のサポーターとともに

11月25日、第46回関東社会人サッカー大会の決勝戦が熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉県熊谷市)で行われ、VONDS 市原 FC が同県代表の坂戸シティ FC を 3-2 で破り、見事優勝しました。この結果、関東リーグ 2 部への昇格が決定し、来シーズンからは同リーグ 1 部、またその先にある JFL を目指して戦います。今後の活躍を応援しましょう!

問合せ先 スポーツ振興課 ☎ 9851